

子どもたちと過ごしたこの一年

先輩たちの声



「目の前のことに全力で!!!」

王寺工業高等学校 長谷川 諒 先生

学校生活の様々な場面で子どもたちの成長を目の当たりにします。バスケットボール部の顧問として、子どもたちと一緒に取り組むと、楽しく嬉しい事・悩む事など様々な出来事が起こります。辛く、悔しい事も当然ありますが、「何事も諦めず、一生懸命に、目の前のことに全力で取り組む！」姿勢で全力で取り組めば、必ず努力は報われることを子どもたちに伝えてきました。この1年間だけでも、あっと驚くような成果や、想像以上に速い成長が見られ、毎日が新鮮です。また、その時の子どもたちの表情はとても輝いています。私自身も目の前のことに全力で取り組み、いつまでも子どもたちと成長していきたいと思っています。



教えるから共に学べ

左京小学校 藤原 里紗 先生

「先生ー」とキラキラした笑顔で駆け寄ってくる子どもたち。それは、今の私にとって一番の「たからもの」です。4月初日、私の教員人生の始まりであると同時に、「教えてもらう立場から教える立場になる」記念日です。そう思い、やる気100%で左京小学校に赴任しました。音楽の担当になり3～6年生を受け持ちました。経験や専門性が乏しく、つまづくことも多々ありました。指導をする自分自身を想像しながら授業を考えますが、なかなかうまくいきません。そんな時、「先生ー」。私は、気付きました。主役は私ではなく子どもたちなのだということ、学校は「私も一緒に学ぶ場」なのだということに。これからも、子どもと共に学び続けたいと思います。



一人一人と向き合いながら

光陽中学校 田中 美沙 先生

日々の学校生活、部活動など、生徒たちと過ごす時間は長く、毎日が充実しています。「生徒に寄り添える教員」になることを目標に、生徒たちへの声かけの仕方や授業構成など、一つ一つ試行錯誤しています。一人一人の生徒と向き合うために、「子ども」としてではなく、「一人の人間」として接するように心がけて、積極的に関わってきました。初めは接し方が難しいと感じるときもありましたが、授業でも部活動でも、一人一人にまっすぐ向き合っていくことで、生徒もこちらに向かってきてくれるのではないかと感じています。生徒と過ごす毎日を大切に、生徒と共に成長していくことができる教員でありたいと思っています。